



平成 17 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17 年 1 月 12 日

上場会社名 **株式会社ケーヨー** (コード番号: 8168 東証第 1 部)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 林武夫

問合せ先責任者 役職名 代表取締役副社長 氏名 儘田公明 TEL:(043)255-1111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(金額が僅少なものにつきましては一部簡便な方法を採用しております。)

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 16 年 3 月 1 日 ~ 平成 16 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益または 営業損失()		経常利益または 経常損失()		四半期(当期) 純利益または純損失()	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 2 月期第 3 四半期	146,365		1,352		660		1,113	
16 年 2 月期第 3 四半期								
(参考) 16 年 2 月期	188,842		328		1,387		221	

	1 株当たり四半期(当期) 純利益または純損失()		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益 または純損失()	
	円	銭	円	銭
17 年 2 月期第 3 四半期	19	29		
16 年 2 月期第 3 四半期				
(参考) 16 年 2 月期	3	80		

(注) 当連結会計年度より四半期業績の開示を行っており、前年同四半期の実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

中間期以降の 3 ヶ月は、製造業を中心に好業績の発表が続き、個人消費への期待も膨らみましたが、回復を実感するまでには至りませんでした。また、相次ぐ台風上陸や中越地震などの自然災害により、防災に対する意識が高まったことや道交法の改正などの要因によって一部の商品の販売増に繋がりましたが、一方では、平年を上回る気温の推移によって季節商品の販売が不調となりました。

こうした中、当社グループの中核となるホームセンター事業では、商品改廃のスピードを上げるため「売場改善タスクフォース」を立ち上げ、商品入替えと売場メンテナンスを進めてまいりました。さらには、業績回復のために客数の確保を第一優先と考え、チラシ表現の改善、価格訴

求などによる販促強化に取り組んでまいりました。

また、引き続き販売拠点の強化に努め、中間期以降7店舗の新規出店と1店舗の増床、1店舗のスクラップを実施し、当第3四半期連結会計期間では、新規出店18店舗、増床1店舗、閉店5店舗となりました。

こうした取り組みによって、売上高は新規出店が寄与して増収となり、既存店にも回復の兆しが出てきておりますが、計画に対しては未達で推移しております。また、商品単価の回復が遅れ、荒利益率が計画より低下して推移しております。

一方、利益確保のため、本部コスト等の削減を実施したのをはじめ、引き続きコスト削減に努めておりますが、当第3四半期連結会計期間の利益は計画をやや下回った推移となっております。

なお、ホームセンター事業以外の子会社につきましては、当第3四半期で経常黒字を計上いたしております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年2月期第3四半期	131,922	43,974	33.3	761 76
16年2月期第3四半期				
(参考)16年2月期	120,340	45,254	37.6	783 90

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年2月期第3四半期	6,702	5,262	2,596	9,030
16年2月期第3四半期				
(参考)16年2月期	1,518	7,981	7,509	4,994

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、前期末と比較して115億82百万円増加し、1,319億22百万円となりました。この結果、株主資本比率は33.3%となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、67億2百万円となりました。その主な要因は、仕入債務の増加による収入92億16百万円とたな卸資産の増加による支出43億99百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、主に新規出店に伴う敷金保証金の差入れ29億68百万円と、有形固定資産の取得による35億32百万円の支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、長期借入による 140 億円となりました。一方主な支出は借入金
金の返済及び配当金の支払等であります。

これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ、40 億 36 百万円増加し、90 億 30
百万円となりました。

3. 17 年 2 月期の連結業績予想 (平成 16 年 3 月 1 日 ~ 平成 17 年 2 月 28 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	199,000	960	330

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 5 円 72 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、現時点では平成 16 年 10 月 12 日付の中間決算短信 (連結) に
公表いたしました予想に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したもので
あり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(添付資料)

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科 目	当第3四半期末 (平成16年11月30日現在)	参考 前連結会計年度 (平成16年2月29日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	9,030	4,994
受取手形及び売掛金	820	511
有価証券		39
たな卸資産	35,027	30,627
その他	4,594	4,347
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	49,472	40,520
固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物及び構築物	43,145	39,195
土地	16,091	16,005
その他	4,688	5,326
減価償却累計額	23,267	21,770
有形固定資産合計	40,659	38,756
(2) 無形固定資産	1,714	1,768
(3) 投資その他の資産		
投資有価証券	11,179	11,228
差入保証金	23,937	22,506
その他	6,330	7,349
貸倒引当金	1,389	1,817
投資その他の資産合計	40,058	39,267
固定資産合計	82,432	79,791
繰延資産	17	28
資産合計	131,922	120,340

(百万円未満切捨て)

科 目	当第3四半期末 (平成16年11月30日現在)	参考 前連結会計年度 (平成16年2月29日現在)
	金 額	金 額
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,227	17,115
短期借入金	6,545	9,704
1年以内返済予定の長期借入金	3,929	9,121
その他	5,789	4,685
流動負債合計	42,492	40,626
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	33,086	21,776
退職給付引当金	2,285	2,300
役員退職慰労引当金	319	325
連結調整勘定	901	1,121
その他	1,199	1,259
固定負債合計	44,792	33,784
負債合計	87,285	74,410
(少数株主持分)		
少数株主持分	663	674
(資本の部)		
資本金	14,948	14,948
資本剰余金	15,136	15,136
利益剰余金	11,980	13,454
その他有価証券評価差額金	2,820	2,625
自己株式	911	909
資本合計	43,974	45,254
負債、少数株主持分及び資本合計	131,922	120,340

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	当第3四半期 (自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日)	参考 前連結会計年度 (自 平成15年3月1日 至 平成16年2月29日)
	金 額	金 額
売上高	146,365	188,842
売上原価	107,527	138,854
売上総利益	38,838	49,988
販売費及び一般管理費	40,190	49,660
営業利益または営業損失()	1,352	328
営業外収益	1,757	2,155
営業外費用	1,065	1,096
経常利益または経常損失()	660	1,387
特別利益	127	43
特別損失	665	1,096
税金等調整前四半期(当期)純利益 または純損失()	1,197	334
法人税、住民税及び事業税	74	314
法人税等調整額	156	213
少数株主利益または少数株主 損失()	2	12
四半期(当期)純利益または 純損失()	1,113	221

3. (要約) 四半期連結剰余金計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	当第3四半期 (自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日)	参考 前連結会計年度 (自 平成15年3月1日 至 平成16年2月29日)
	金 額	金 額
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	15,136	15,215
資本剰余金減少高		
自己株式処分差損		78
資本剰余金四半期末(期末)残高	15,136	15,136
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	13,454	14,000
利益剰余金増加高		
当期純利益		221
合計		221
利益剰余金減少高		
配当金	360	734
役員賞与		32
四半期純損失	1,113	
合計	1,474	767
利益剰余金四半期末(期末)残高	11,980	13,454

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	当第3四半期 (自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日)	参考 前連結会計年度 (自 平成15年3月1日 至 平成16年2月29日)
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益 または純損失()	1,197	334
減価償却費	2,163	2,788
売上債権の増加額	309	310
たな卸資産の増加()または減少額	4,399	110
仕入債務の増加または減少()額	9,216	1,274
その他	1,360	622
小計	6,834	2,271
法人税等の支払額	178	687
その他	46	65
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,702	1,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による収入		381
有形固定資産の取得による支出	3,532	6,940
投資有価証券の売却による収入	460	1,450
敷金・保証金の差入による支出	2,968	3,517
敷金・保証金の返還による収入	1,009	1,314
その他	231	671
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,262	7,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額	3,158	641
長期借入金の返済による支出	7,882	2,557
長期借入による収入	14,000	4,000
社債の発行による収入		7,000
配当金の支払額	360	734
その他	1	839
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,596	7,509
現金及び現金同等物の増加額	4,036	1,046
現金及び現金同等物の期首残高	4,994	3,948
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	9,030	4,994